

今年度、未来共創まちづくり委員会では、震災後という新しい時代を歩み始めた今こそ、浦安がもつポテンシャルを最大限に引き出し活かしきるための政策を検討することで、浦安の更なる発展につなげていきたいと考え、政策提言書の作成をメインに様々な運動を進めてまいりました。

3月第二例会「『うらやす未来共創プロジェクト』～ファーストステージ新たな文化の幕開け～」では、私たち委員会が1年かけて行っていく政策提言の内容について、浦安青年会議所内でのガバナンスを構築するため、講演、およびパネルディスカッションを実施しました。「政策提言による市民の意識改革について」というテーマで当委員会が考える政策提言について講演し、まちづくりに見識をもつ4名のパネリストによるディスカッションの中で当委員会が掲げる政策の可能性を深掘りすることで、当委員会が提示した政策提言のテーマについて、課題や方向性を見出すことができました。

そして、9月第一例会「『うらやす未来共創プロジェクト』～みんなで考えよう！うらやすの未来～」では、まちの未来を想う市民の声で浦安を変えることが出来ることに気づいてもらい、浦安市の未来について考える機会を創出するため、講演、およびパネルディスカッションを実施しました。「市民の声でまちが変わる」というテーマで、市民一人ひとりが自分の住むまちを考え、行動することの必要性を講演し、4名のパネリストによるディスカッションの中で市民がまちづくりに参画することの必要性、自分たちが住むまちの未来について深掘りすることで、参加した会場の皆様と一緒に考えていきました。来場された市民の皆様にも自分の住むまちに必要なことを考えて頂き、そしてまちづくりに参画する意識を向上させることができました。

また、10月その他事業「『うらやす未来共創プロジェクト』～あなたの声でまちが変わる！まちの未来創造アンケート～」では、浦安青年会議所で検討した政策が行政に採用される政策とするために、多くの市民の声を集めるための市民アンケートを実施しました。約1200名もの皆様からアンケートを回収することができ、市民の皆様が今求めていることを把握することができました。

さらに、委員会の集大成として、年間2,700万人を超える国内外の観光客をターゲットに「人と人が交流できる仕組み」を構築するため、ジャパンアンテナモール（アンテナショップの集合体）を浦安に設置して日本の情報発信基地にすることを政策提言書にまとめ、松崎市長に提出いたしました。政策提言書の作成は浦安青年会議所としては初の試みだったため、政策提言の手法を詳細化する過程でどのようにまとめていくかかなり苦労しました。今回の提言は市民の皆様が驚くような画期的な提言ではなかったかもしれませんが、初の試みである政策提言書の提出を行ったこと自体が大きな成果だと考えます。政

策提言書作成までのスキームを次年度以降に引き継ぐことで、第二、第三の政策提言書を市に提出し、まちの発展につながる運動を進めてまいりたいと思います。

最後に、浦安青年会議所初の政策提言書を提出できたのは、有意義なメッセージを伝えてくださった講師、パネリスト、行政の皆様、事業運営をサポートしてくださった浦安青年会議所メンバーの皆様のご協力のおかげとっております。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。1年間ありがとうございました。